

令和 5 年度

厚生労働省

がん検診の受診勧奨策等実行支援事業

## 事業の背景と位置づけ

本事業は、令和2年度から4年度にわたって実施されました「がん検診のアクセシビリティ向上策等の実証事業」における実証結果・ノウハウを広く普及し、より効果的ながん検診の受診率向上策を市区町村が立てられるようになることに貢献するとともに、都道府県の市区町村支援に役立ててもらうことを目的しております。

### 大規模実証事業の 実施と成果物の制作

- 令和2～4年度
- がん検診のアクセシビリティ向上策等の実証事業において、複数施策の実証
  - 市区町村アンケートを行い、受診率と紐づけて分析
  - 実証結果・分析結果をとりまとめ、受診率向上ハンドブック【第3版】の制作

### 大規模実証事業の 成果物の紹介

- 令和5年度
- 受診率向上ハンドブック【第3版】を全国の市区町村へ紹介
  - 次年度のがん検診事業に活かすための計画策定

### 大規模実証事業の ノウハウの実践

- 令和6年度
- 受診率向上ハンドブック【第3版】の内容に基づき策定した計画を実行し検証

# がん検診のアクセシビリティ向上策等の実証事業

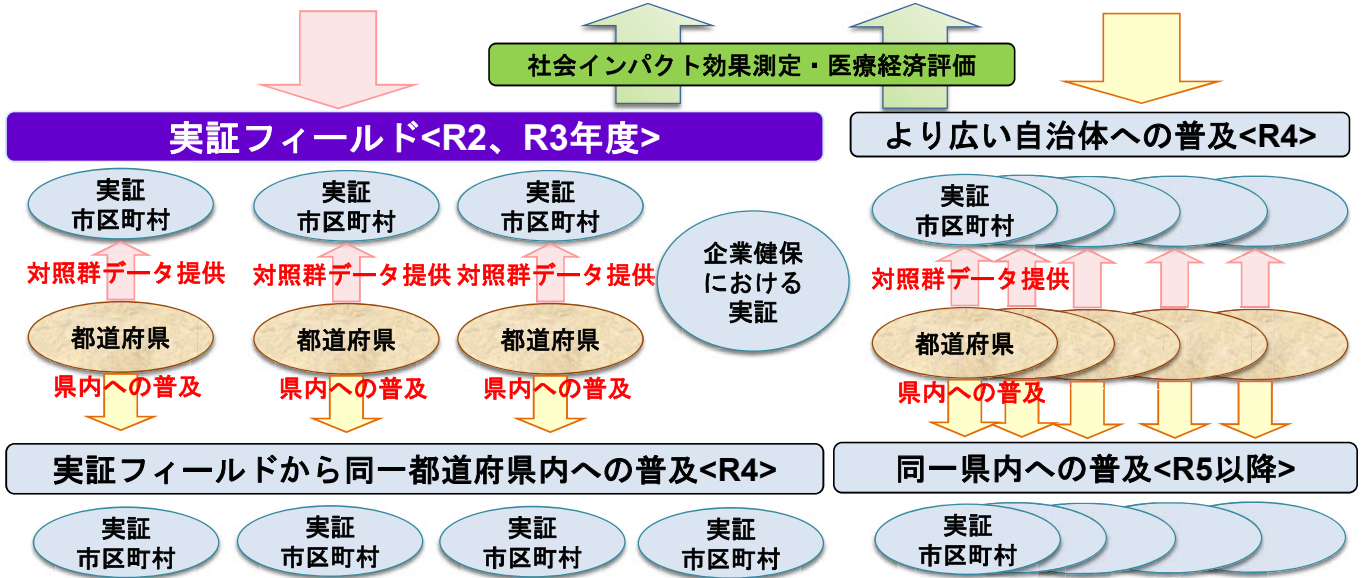
事業目的：事業者らがこれまでに取り組んできたがん検診受診率向上のノウハウを集約してがん検診受診率および精密検査受診率向上の方法を開発し、自治体や保険者にて実証を行い、全国に普及する

## 実証事業者チーム

### がん検診受診率向上パッケージの開発

- ① ナッジ理論やソーシャル・マーケティング手法等を用いた効果的な勧奨方法
- ② 特定健診とがん検診の同時実施や市区町村等の境界を越えて受診できるがん検診など、受診者が受けやすい方法の活用

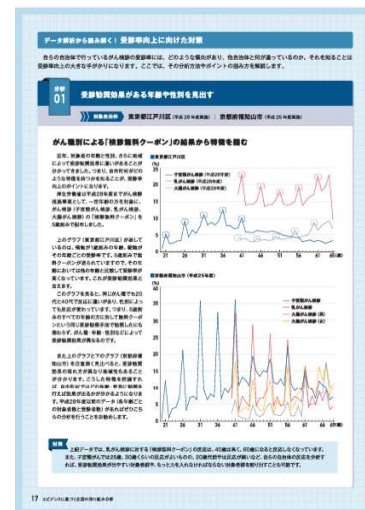
- ③ 自治体によるがん検診実施手順のベストプラクティスの共有
- ④ これまでに構築したネットワークを利用し、開発した方法の普及
- ⑤ 新型コロナウイルス対策



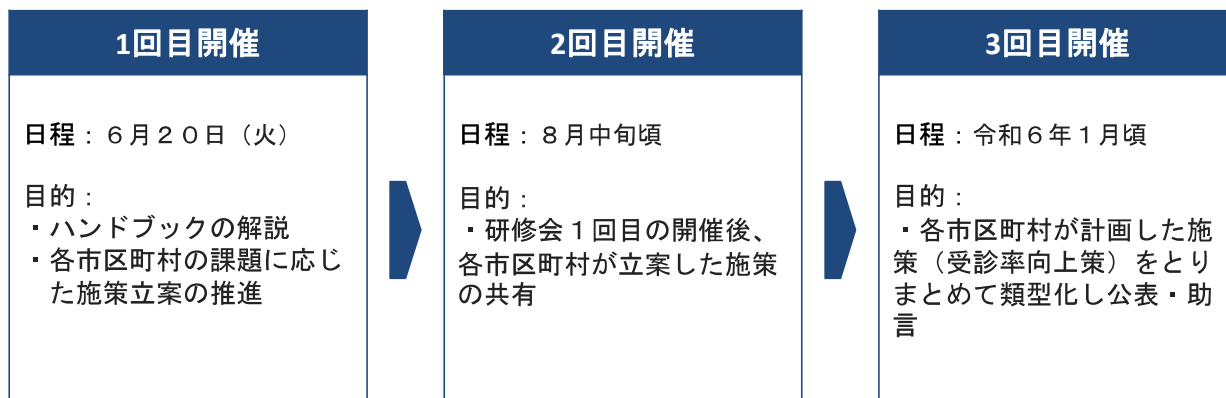
ゴール:市区町村が都道府県と協力し、事業終了後も持続的にがん検診受診率向上に努められる体制を確立しがん対策推進基本計画の目標である受診率50%以上を達成することにより、がん死亡率の減少を目指す

# 受診率向上施策ハンドブック（第3版）

がん検診のアクセシビリティ向上策等の実証事業（令和2年度～令和4年度）において、ご協力いただいた自治体の施策や全国の市区町村のアンケートの分析結果に基づき、がん検診の受診率向上効果が実証された事例をハンドブックとしてまとめました。



# がん検診の受診勧奨策等実行支援事業 研修会の開催



## 研修会（1回目）

※オンライン開催（後日、動画配信をおこないます）

日程	6月20日（火）10時～12時
研修会の目的	受診率向上施策ハンドブック（第3版）の解説などをおし、受講後、各市区町村がそれぞれの課題等に応じた受診率向上策の計画を立案すること
期待する効果（ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診担当者が受診率向上施策ハンドブック内の事例を含む、<b>ノウハウについて知る（理解する）</b>ことができる</li> <li>・各市区町村ごとの取り組むべき課題と、その課題に対して<b>何から始めれば良いのかについて、主体性を持って考え始める</b>ことができる</li> <li>・<b>研修会（2回目）に向けて計画策定シートを作成する</b></li> </ul>
研修会のポイント	<p>受診率向上施策ハンドブックの解説</p> <p><b>計画策定シート</b>の配布・説明</p>

## 研修会（2回目）

※対面形式を推奨（実施形態は都道府県の状況に応じて決定）

日程	8月中旬頃
研修会の目的	研修会（1回目）の開催後、市区町村が受診率向上策を計画しその内容について、各市区町村が発表し市区町村間で共有することを目的とする
期待する効果（ねらい）	・市区町村同士が「うちは来年度こんなことやります」と発表しあうことによって「確かにそういう手もありますね！」というような <b>気づきをお互いが得て触発される</b>
研修会のポイント	計画策定シートに基づき、考えられた市区町村ごとの施策が他市区町村との交流をとおしブラッシュアップされる

## 研修会（3回目）

※オンライン開催を想定

日程	令和6年1月頃
研修会の目的	全国の市区町村が立案した受診率向上策をとりまとめて類型化し公表・助言をする。 同時に、事前に質問を市区町村から収集しお答えする
期待する効果（ねらい）	・提出してもらった計画策定シートの集計結果から、多くの市区町村の計画に共通する取り組みを5～7パターンほどに類型化しそれぞれのパターンごとに助言を行うことで、 <b>各市区町村が年度明けの事業実施に向け、より实际的・現実的に考えることができるようになる</b>
研修会のポイント	ハンドブックで示した手法をベースとしつつ、市区町村が考える施策のパターン（類型化した5～7パターン）にあわせ、 <b>实际的・現実的な助言をおこなう</b>